

令和7年度 帯広市立広野小学校経営方針

1 教育理念

次代の担い手として、人間尊重の精神を基盤に、心豊かでたくましく生きる子どもの育成を、地域と共に推進する学校教育を創造する。

2 学校教育目標

「ふるさとを愛し、夢を拓く広野の子」

学びを生かす子 未知に挑む子 共に創る子

3 経営の基本方針

学校づくりのテーマ（重点目標）

「共創～ふるさとと共に、学び挑み、夢を創る～」

「つながり」を大切にした「ウェルビーイングな学校づくり」を目指す

～めざす学校像～

（知）主体的に学ぶ環境を提供する学校

（徳）協力と多様性を尊重し、地域と連携する学校

（体）チャレンジを奨励し、失敗を学びに変える学校

4 重点教育目標

知【学び挑み】

① 探究型学習の推進

② 地域資源を活用した学びの充実

③ ICTを活用した自律的な学びの推進

徳【共に創る】

① 協力・共同作業の強化

② 道徳教育と社会性を高める活動

③ 主体性と責任感の育成

体【夢を創る】

① 健康的な生活習慣の促進

② 自然体験など体験学習の充実

③ 挑戦する精神を養う体育的活動の推進

⇒「めざす子ども像」や「めざす教師像」へとつながっていく

子どもにとって、笑顔が自然とあふれる学校

教職員にとって、働きやすさと働きがいのある学校

保護者・地域にとって、期待と信頼を寄せ、応援したくなる学校

5 実践課題と具体的方策の重点

1 学校経営	学校や地域の特性をふまえて、創意工夫を生かした特色ある学校経営を推進する (1)十勝管内教育推進の重点や帯広市学校教育指導の重点に基づき、学校教育目標の達成を目指す計画の具現化と焦点化に努める (2)保護者・地域との連携・協働を深めるため、積極的な情報提供と説明責任を果たし、学校評価（自己評価・学校関係者評価）の実施・公表により学校改善に努める (3)心理的安全性のもと、「K T S B A（交通違反事故・体罰・セクハラ・わいせつ・暴言・安全管理）の誓いの日」を合い言葉に法令遵守と服務規律保持の徹底に努め、報告・連絡・相談・確認を徹底し、活力ある学校運営に努める
2 教育課程	「生きる力」を育む、知・徳・体の調和のとれた社会に開かれた教育課程の編成・実施・評価・改善に努める (1)前年度の成果と課題や社会情勢を踏まえつつ、広野小の特色を生かした教育課程の編成・実施・評価・改善の充実に努める (2)地域教育力を積極的かつ効果的に活用し、地域に愛着をもつ体験や体験・感動をとまなう体験活動など、特色ある教育活動を展開し（笛舞交流・農園活動・環境教育等）、カリキュラム・マネジメントを協働的にを行い、教育の質を高める (3)指導時数の工夫や確保に努め、教育課程における各教科等の関連を図り、横断的・効果的な指導及びその工夫改善を図る
3 教科指導	基礎的・基本的な事項の確実な定着と、自ら進んで学ぶ意欲を育て、一生涯にわたって「生きてはたらく」能力の育成をめざす (1)ICTを効果的に活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実による主体的・対話的で深い学びを目指した授業改革を推進する (2)主体学習相互点検（S S T）や学びチャレンジ週間、復習金曜日などを活用し、個に応じた指導方法の工夫改善を図る (3)複式授業のよさを生かし、汎用性の高い広野スタイルを実現、継承する (4)家庭と連携・協力して、主体的に学習する習慣を付ける (5)丁寧な学びの姿勢（文字・話し方・聞き方）を日頃から意識させ、学習規律（もしり等）を徹底し、小中一貫を見通した学習指導を行う
4 道徳教育	主体的な判断に基づいた道徳的実践を行い、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う (1)「特別の教科 道徳」の目標である「考え、議論する」授業を目指し、道徳的な判断力・実践力の高揚を促す授業づくりを行う (2)学校の教育活動全体を通して、自己有用感や思いやりの心、生命尊重、規範意識などを高め、豊かな心を育む (3)家庭や地域、エリア・ファミリー等との連携を図る（人材活用、道徳授業の積極的な公開、エリア内交流等）。
5 特別活動	様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら、課題解決に向き合う子どもを育む (1)一人一人のキャリア形成と自己実現に向けて、キャリアパスポートを効果的に活用し、学習過程を工夫する (2)児童が主体になった仲間づくりと、課題解決のための話し合いを充実させる (3)安全・安心かつ指導の系統性やねらいを一層明確化、精査した上で、各種行事を実施する (4)異年齢集団での活動を進め、各学年の自覚と責任感を醸成する

6 総合的な 学習の時間	目標や内容、教科との関連を見通して各教科で育成された資質や能力を関連させ合いながら自ら課題を見つけ、自ら追究し、豊かな生活を追求する子どもを育む (1)子どもや地域の実態をふまえ、創意・工夫を凝らした特色ある計画を立てる (2)おびひろ市民学（環境・福祉・防災・食育・町づくり・伝統文化）を通じた教育や、笛舞交流学习等の実践を充実させ、年間指導計画の改善に努める (3)情報活用能力・ICT活用能力、プログラミング思考力の育成を計画的に推進する
7 外国語 活動 外国語科	小中一貫教育の充実により、外国語活動では、聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションの素地となる資質・能力を育て、外国語科では、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育てる (1)言語や文化について体験的に理解を深められるよう指導方法の工夫に努める (2)ALTとの異文化をもつ人との交流等、文化の理解を深める体験的活動を設定する (3)中学校教員による専門的指導を通して、小中一貫教育の推進を図る
8 特別支援 教育	一人一人の教育的ニーズに応じ、連続性のある多様な学びを確保する (1)ユニバーサルデザインと合理的配慮を学校運営の基盤とする (2)特別支援コーディネーターを中心に、特別支援教育に関する理解と専門性を高め合う研修を行う (3)長期的・短期的な目標の設定と、個別の指導計画・個別の教育支援計画の作成、実践と評価を進め、個を見取る力を高め合う (4)保護者との定期的な面談を重視し、指導内容の承諾や結果責任の明確化に努める (5)専門機関・関係機関との連携を密にし、アセスメントの質を高める
9 生徒指導	児童一人一人の個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支えと同時に、自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支える (1)八広いじめ防止基本方針に基づき、いじめ防止対策委員会を機能させ、いじめの未然防止、早期発見・早期解決を徹底する (2)初期対応を誤らぬよう日頃から報・連・相・確に努め、組織的に情報・行動連携し、解決を図る (3)関係機関との連携を視野に、謙虚さと傾聴を基盤とした家庭との共通理解に努める (4)基本的な生活習慣を形成し、児童の自立と共生をめざす
10 健康・ 安全指導	絶えず危機意識をもって児童の生命を守り、保護者・地域と連携しながら健康・安全に対する習慣や態度の育成を図る (1)「広野っ子からだチャレンジ」（全校児童による体力テストや体力づくり）により体力の実態を把握し、体力向上のための1校1実践、体育の授業の充実・改革を進める (2)基本的な生活習慣の形成と指導の充実を図る（早寝・早起き・朝ごはん・姿勢） (3)学年の発達段階に即した「性に関する指導」の充実に努める (4)手洗いやうがいなどの予防法や正しい知識を身に付けさせる

11 学級経営	共感的な児童理解に努め、学級への所属感や存在感、自己有用感や安心感を実感させる学級づくりを進める
	(1)学級経営案を作成し、支持的・受容的な学級経営に努める (2)全教職員で全児童を見守り・育むことを前提に、学級担任への支援体制を構築する (3)いじめや問題行動等の未然防止、早期発見・早期解決のために、素早い情報の報告・連絡・相談・交流に努める
12 研 修	日常の教育実践の改善・充実に直結した研修活動を展開し、専門性を高める
	(1)校内における研修体制を確立し、教員の資質・能力の向上を目指す校内研修の充実に図る (2)各種調査（全国学力・学習状況調査、標準学力調査、チャレンジテスト等）を全職員で分析し、結果をふまえた確かな学力の定着を目指した指導法の工夫改善に努める (3)仮説に基づく研究の手立てを日常の授業で追究・検証し、中学校との研究授業交流を進める (4)中学校と研究交流を意図的に進め、小中一貫としての統一した方向性を目指す (5)各種研究会、研究協議会、研修講座等への積極的参加に努める (6)講師を招聘したり、授業を広く公開したりすることにより、指導助言を受ける機会を設定するとともに、実技研修の充実に努める
13 教育環境	学校・家庭・地域の連携協力のもと、ゆとりと温もりのある環境の整備に努める
	(1)地域のよさを生かした様々な生活体験や自然体験の場や機会を広げる（自然環境、人材、施設の有効活用とこれを生かした教育活動の展開） (2)教室環境を工夫改善し、美化の徹底と言語環境の適正化に努める (3)職員間およびP T Aの連携・協力により教育環境の整備を一層進める
14 <u>家庭・地域との連携</u>	家庭・地域に開かれた学校を目指した取り組みに努める
	(1)各種便り、授業参観や懇談会等を通じ、保護者・地域との連携を強化した指導を推進する (2)情報提供と説明責任を果たすための取組を積極的に進め、保護者・地域に信頼される学校経営に努める。 (3)八広コミュニティ・スクール協議会組織に則り、小中一貫教育の専門部会を機能させ、連携を密にした教育活動を展開する (4)学校支援地域本部事業、子どもの居場所づくり、図書ボランティア、生涯学習委員などを包括した八広コミュニティ・スクール協議会の体制の充実に図る (5)八広コミュニティ・スクール協議会と連携し、学校と家庭、地域、関係機関等と連携を図った交通安全・防犯・防災教育を充実させる
15 学校事務	学校事務の適正且つ効率的な運用に努める
	(1)適正・的確な学校予算の執行及び文書管理・文書収受に努める (2)学校事務を効率的・効果的に実施するとともに、組織的・計画的な推進を図り、一層の充実に図る
16 交流学习	近隣の小学校や笛舞小学校との交流学习を通して、子どもたちの友情と信頼を深め、心の教育を図る
	(1)児童が多様な人間関係を築き、友情と信頼を深めるため、学校間の連携を深める (2)笛舞小との綿密な打合せに努め、有意義な交流学习へと繋げる